

京都古代散策

1500 年前の山背国 葛野

京都盆地を知ろう。

《秦氏の活躍と太秦広隆寺》

行程：JR太秦駅 蛇塚 天塚 蚕の社 大避神社 広隆寺

四世紀に渡来したといわれる秦の民一族は山背国葛野に入植、荒野を開発していった。

秦氏の渡来は古代大和政権初期の時代にあたります。日本書紀の記述によりますと「応神天皇14年（約372年）百濟より127県の民18,670余人を統率して弓月王が帰化……」とあります。この大集団が半島から船で日本列島へ来たとなると、まるで渡し船のような船便が発達していたというほかありません。

秦氏は特に養蚕、機織の技術に優れ、五世紀後半ごろより伴造として多数の秦部を管理し織物の生産などに携わった。古代の葛野一帯を根拠とし畿内のみならず全国に産業文化の発達に貢献した。

また、治水技術に優れていた上に大集団の統率力が葛野大堰を築くなど、大規模土木工事に優れた力を発揮した。代々の朝廷に帰順しながら日本建国にも貢献しましたが、反面独自性をも保った氏族といえます。

参加料： 円（小学生 円）

集合場所：JR太秦駅改札前

出発日時：午前9：30

解散場所：太秦広隆寺

行程距離：3.5km

所要：3時間

最小催行：名以上

昼食：

案内：

要予約：団体企画を用意しています。
グループでお申し込みください。

ご予約、お問い合わせは、

主催 京都旅倶楽部株式会社

〒616-8057 京都市右京区花園木辻南町13-25

TEL:075-464-8780 FAX:075-464-8748

E-mail:fly@costra.co.jp

<http://www.costra.co.jp>



いさら井



太秦広隆寺